

# 美しい山形・最上川フォーラム

## 第18回 清流部会・環境対策部会 合同部会

日 時 平成19年2月16日(金)14:00～  
場 所 遊学館 第一研修室

### 次 第

- 1 開 会
- 2 清流部会長・環境対策部会長あいさつ
- 3 やまがた緑環境税について
- 4 報告・協議
  - (1) 平成18年度部会事業の推進状況について
  - (2) 平成19年度部会事業について
  - (3) その他
- 5 閉 会

美しい山形・最上川フォーラム  
第18回 清流部会・環境対策部会 合同部会

資料一覧

**資料1** 平成18年度部会事業の推進状況

(関連資料)

水辺の健康診断報告書(案) 抜粋 (略)  
キャプテン研修会・地区会議の実施状況  
クリーンアップキャンペーンの実施状況  
クリーンアップ報告書(案) (略)

**資料2** 平成19年度事業計画案

(関連資料) (略)

平成19年度「身近な川や水辺の健康診断」実施要領(案)  
上記チラシ(案)  
上記調査の手引き(案)

【参考資料】

第17回清流・環境対策合同部会の概況 (略)

## 平成18年度における各部会事業の推進状況

### 1 清流部会事業

#### 身近な川や水辺の健康診断の実施（一斉調査期間 6月3日（土）～11日（日））

- ・ 県民の皆さんに身近な水辺に関心を持っていただくため、身近な川や水辺の健康診断（水質調査等）を国土交通省及び山形県の支援のもと実施。

（化学的酸素要求量（COD）水素イオン濃度（pH）、アンモニウム体窒素（NH<sub>4</sub><sup>+</sup>-N）、亜硝酸体窒素（NO<sub>2</sub><sup>-</sup>-N）、硝酸体窒素（NO<sub>3</sub><sup>-</sup>-N）、りん酸体りん（PO<sub>4</sub><sup>3-</sup>-P）の6種類を調査）

【18年度】110グループ・1,181名が、287地点で実施 [H17:116グループ、1,271名、299地点]

- ・ 市民団体と国土交通省が連携して行う、第3回「身近な水環境の全国一斉調査」(COD、気温、水温)に参加。
- ・ 参加者説明会を県内4会場で開催（村山、最上、置賜 5月20日（土）、庄内 5月21日（日））。
- ・ 調査結果に基づき、報告書を作成。

（会員による調査結果検討会を開催（9月、1月）し、結果の分析、報告書案のとりまとめを実施）

- ・ 10月下旬、各地区において参加グループによる調査結果検討会を開催し、参加者に調査結果を情報提供。

期 日	地区名	会 場
10月14日	村山地区	村山総合支庁（山形市）
10月25日	最上地区	最上総合支庁（新庄市）
10月28日	庄内地区	酒田市総合文化センター（酒田市）

#### 第2回もみがわ水環境発表会の開催

- ・ 県環境科学センターと連携して開催（11/12） 参加者数 約70名
- ・ 水環境に関する研究活動などを行っている、団体、研究機関、行政機関などが、県内の水環境の改善等に関する発表を行った（13テーマの発表）。
- ・ あわせて講演会を開催。「加茂の海から見た水環境」 鶴岡市立加茂水族館 館長 村上龍男氏

### 2 環境対策部会事業

#### キャプテン研修会・地区会議（8月～10月）

- ・ キャプテン研修会・地区会議を県内5会場で開催し、クリーンアップキャンペーンの事前研修、散乱ゴミに関する意見交換、参加者の交流などを行った。

期 日	地区名	場 所	運 営 ・ 協 力 団 体 等
9月29日	全 県	酒田市	NPO パートナースhipオフィス
9月30日	庄内地区	酒田市	同上
10月20日	最上地区	舟形町	新庄・最上環境会議、升形川に親しむ会
11月26日	置賜地区	長井市	置賜地域組織（地域組織設立準備会と併催）
1月27日	村山地区	村山市	最上川故里ミュージアム

#### 美しい山形クリーンアップキャンペーンの実施（キャンペーン期間 8～10月）

- ・ 河川や海岸などの散乱ゴミの改善を図るため、美しい山形クリーンアップキャンペーンを8月～10月に実施（実施団体数：56グループ、申込団体数：61グループ） [17年度実績：同53グループ、同66グループ]
- ・ キャンペーンに参加し、データカード作成に協力したグループに対して活動経費を支援した。
- ・ 県内各地で開催される河川・海岸のクリーンアップ活動との連携を図った。  
（戸沢村モモカミバスターズ（5月下旬）、大石田町最上川を愛する町民会議（6月中旬、10月下旬））

### 3 最上川文化部会事業

#### 「夢の桜街道～さくら物語～」の発行

- ・ 最上川など県内各地を彩っている桜、川や水辺に関する想いに関する小冊子を、年 3 回作成し、総会や部会の案内にあわせて会員に配布する。(第 7 号(6 月) 第 8 号(10 月)を刊行し、現在第 9 号を編集中)。
- ・ 会員による編集委員会により編集を行っている。  
(編集委員 浅香 憲一氏、井上みやま氏、酒井 進洋氏、東海林 宗雪氏、原田 清廣氏、渡部 武氏)

#### 第 3 回最上川舟運文化シンポジウムの開催

- ・ 7 月 16 日(日)に「サハトベに花」(河北町)を会場として、最上川舟運文化に関するシンポジウムを開催した(約 100 名参加)(河北町のフォーラム会員が中心に企画・準備)  
パネルディスカッション テーマ:「いにしえのロマン、紅花文化」  
(コーディネーター) 平松 緑氏(東北公益文科大学教授)  
(パネリスト) 飛沢喜久男(紅花栽培家)、新田英行(米沢織、紅花染色家)、矢作春樹(紅花研究家)  
シンポジウムに先立ち、林家舞楽の公演、やまがた舞子による「紅花摘み歌」踊りなどを鑑賞。

### 4 地域経済活性化部会事業

#### 最上川夢の桜街道推進地域活動の支援

- ・ 最上川夢の桜街道の推進のため、地域の皆さん(桜守)が桜を植栽する活動などを、市町村を通じて支援(県事業、(株)ジェイティービーからの寄附を原資とした事業)。
- ・ 15～17 年度に続き、(株)ヤマザワ様から、最上川夢の桜街道を推進する市町村に対して寄附(5 市町村)【18 年度事業箇所】14 市町村での活動を支援  
[桜植栽] 8 市町村で、約 200 本の桜を植栽活動中  
(東根市、尾花沢市、大石田町、戸沢村、長井市、高畠町、川西町、鶴岡市)  
[維持管理] 12 市町村で実施(寒河江市、東根市、大石田町、金山町、最上町、舟形町、真室川町、戸沢村、高畠町、川西町、鶴岡市、酒田市)

#### 最上川夢の桜街道づくり技術研修会の開催

- ・ てんぐ巣病などに関する技術研修会を開催(7 市町村、8 地域で開催、延べ参加者約 180 名)

期 日	開 催 地
11 月 8 日	村山市(参加者: 40 名程度) 大石田町(参加者: 10 名程度)
11 月 9 日	尾花沢市(2 地区)(参加者: 45 名程度)
11 月 10 日	鶴岡市(参加者: 25 名程度)
11 月 15 日	戸沢村(参加者: 25 名程度) 金山町(参加者: 20 名程度)
11 月 17 日	酒田市(参加者: 25 名程度)

- ・ 開催に当たっては、財団法人山形県みどり推進機構に協力していただいた。

#### 第 3 回夢の桜街道写真コンテスト及び写真展の実施等

- ・ 桜と水辺(川・海・湖沼等)又は桜と山が含まれる作品を募集し、入賞作品を選考。  
(252 名から 649 点の応募。7 月 14 日審査会を開催し、最優秀賞ほか 30 点の入賞作品を選考)
- ・ フォーラム主催の写真展を 9/6～10 にかけて、山形市「文翔館」で開催(約 300 名を集客)。あわせて入賞作品の表彰を行った。
- ・ 関係機関の協力のもと、1～3 月にかけて、各地で写真展を開催予定。  
(2/8～21:長井市内、 3/10:酒田市内、 3/13～29:米沢信金、 4/1～15:大石田駅)

## 啓発資料の作成等

- ・ 第3回夢の桜街道写真コンテストの入賞作品を活用した啓発資料（カレンダー、ポスター、新聞広告等）を作成する。

会員全員へ桜のカレンダー（A3版）を配布する予定で準備中。

## 5 地域の特徴を活かした活動の展開《新規》

- ・ 県内4ブロックごとに、美しい山形づくりに向けた地域の特徴を活かした活動を展開していくための推進組織を、地域のNPO、関係団体等との連携のもと、運営委員、会員が中心となって設立。
- ・ 当該組織において、各地域の特徴ある河川環境の活用、地域課題の解決に向けた事業を実施予定。

### 【開催状況】

村山	・ 設立準備会(10月24日)を開き、地域代表、幹事を選出(代表:浅香憲一氏) ・ 事業活動中(3/10~11 講演会、分科会を開催予定)
最上	・ 設立準備会(10月26日)を開き、地域代表、幹事を選出(代表:長沼 敏氏) ・ 事業活動中(最上の湧水30選マップの作成)
置賜	・ 設立準備会(11月26日)を開き、地域代表、幹事を選出(代表:佐藤五郎氏) ・ 事業活動中(地域の環境団体のネットワークづくり)
庄内	・ 設立準備会(11月22日)を開き、地域代表、幹事を選出(代表:菅原幸司氏) ・ 事業活動中(3/10 桜の植栽、維持管理に関する技術研修会)

### 【地域組織メンバー】

村山	代表 浅香憲一(県観光ボランティアガイド連絡協議会) 幹事 伊藤憲昭(株)シェルター、大泉 茂(県理化学分析センター)、 黒田 勝(県下水道公社)、小山威子(大石田町最上川を愛する町民会議)、 高橋真理(山形マーマードスイミングスクール)、結城チヨノ(県緑を育てる女性の会)
最上	代表 長沼 敏(千門町蛸の会) 幹事 千門町蛸の会(大山孝一)、新庄・最上環境会議(佐藤眞一、富里高義)、 川西町河川公園を愛する会(伊藤 公)、升形川に親しむ会(笹原孝雄)、 ボランティア・カム口(大場光雄)、小松 伸也(株)小松建設、東海林宗雪
置賜	代表 佐藤五郎(米沢中央高校) 幹事 竹田 仁(NPOおいたまサロン)、齋藤真知子(長井市レインボープラン推進協議会)、 久保道典(水辺で遊べるわらしっ子広場整備促進協議会)、渡部 武、 青木孝弘(長井まちづくりNPOセンター)
庄内	代表 菅原 幸司(株)理研分析センター) 幹事 大歳恒彦(東北公益文科大学)、酒井天美((財)到道博物館)、佐藤勝見(大蔵商事株)、 心のふるさと新井田川の会(原田清廣、伊藤則義)、 長谷川雅一(親水公園八沢川せせらぎ公園愛護会)

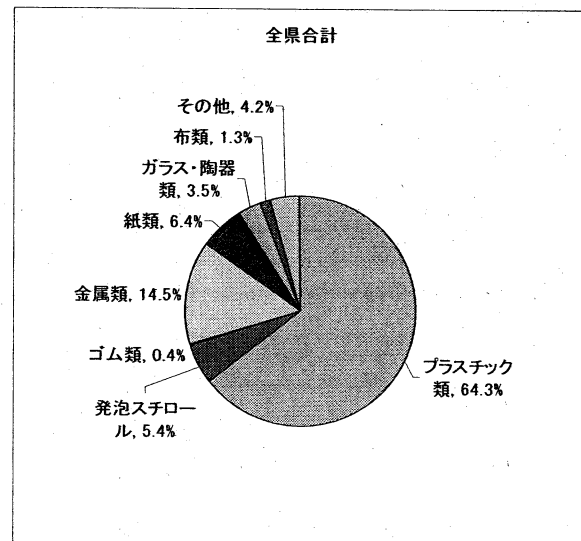
幹事については、随時拡充

## 平成18年度 美しい山形クリーンアップキャンペーン実施状況

## 参加グループ

56グループ

村山 26グループ  
 最上 6グループ  
 置賜 9グループ  
 庄内 15グループ



(参考：18年度キャンペーンで回収されたゴミ)

ゴミの種類	割合
プラスチック類の破片	14.1%
タバコのフィルター	16.0%
使い捨てライター	0.6%
シート類	0.5%
スーパー、コンビニのレジ袋	6.2%
食品、菓子の袋	6.5%
プラスチック製フタ、キャップ	3.3%
ペットボトル	5.4%
洗剤、漂白剤のボトル	0.4%
ストロー	0.6%
食品容器	2.3%
使い捨て食器	1.0%
釣具(餌の袋、浮き等)、漁具	0.5%
釣り糸	0.1%
紐、ロープ	1.7%
おもちゃ	0.6%
生活雑貨	1.0%
農業、園芸用肥料袋	1.6%
注射器	0.0%
紙おむつ	0.0%
その他(プラスチックの破片小など)	2.2%
<b>プラスチック類計</b>	<b>64.3%</b>

ゴミの種類	割合
発泡スチロール容器及び破片	2.6%
食品トレイ	1.4%
ファーストフード容器	0.3%
使い捨て食器	0.6%
その他(発泡スチロールの破片小)	0.7%
<b>発泡スチロール計</b>	<b>5.4%</b>
風船	0.0%
タイヤ	0.0%
ボール	0.1%
その他ゴム手袋、チューブなど	0.2%
<b>ゴム計</b>	<b>0.4%</b>
スプレー缶	0.2%
飲料缶	11.3%
金属製フタ、キャップ	1.2%
釘、鉄板、鉄筋、針金等	1.0%
乾電池	0.2%
プルタブ	0.4%
その他(金属の破片など)	0.2%
<b>金属計</b>	<b>14.5%</b>

ゴミの種類	割合
タバコのパッケージ	1.5%
飲料用紙パック	1.0%
使い捨て食器	0.4%
新聞、雑誌	1.1%
その他(紙くずなど)	2.4%
<b>紙計</b>	<b>6.4%</b>
ガラス、陶器の破片	1.3%
飲料ビン	1.9%
その他のビン	0.1%
電球、蛍光灯	0.1%
その他(陶器破片など)	0.1%
<b>ガラス・陶器計</b>	<b>3.5%</b>
布片	0.3%
衣服類	0.8%
その他(土のう袋など)	0.2%
<b>布計</b>	<b>1.3%</b>
花火	1.6%
履物	0.1%
バッテリー	0.0%
自転車、バイク	0.0%
電化用品	2.5%
その他(建築資材など)	2.5%
<b>その他計</b>	<b>4.2%</b>
<b>合計</b>	<b>100%</b>

(注)この表は個数でカウントしたものを割合で表したものです。

平成18年度 クリーンアップ・キャンペーン参加者一覧

	実施グループ名	調査市町村名	実施地点名	調査月日	参加(申込)人数
1	米沢市立南原小学校	米沢市	海老ヶ沢公園(直江堤公園)	10/17(火)	296
2	三沢の自然を護る住民会議	米沢市	大樽川、塔ノ原橋上流 砂防までの兩岸	10/18(水)	20
3	NPO法人 おいたまサロン	米沢市	花沢大橋下流右岸	9/16(土)	3
4	米沢自然愛好会	米沢市	花沢大橋付近	8/20(日)	5
5	お~いタマちゃんクラブ	米沢市	米沢市公共下水道排水桶管~新田橋	8/20(日)	40
6	吉長会	飯豊町	上白川橋下流右岸、上下流約400m	9/17(日)	12
7	貝生川あたご愛護会	白鷹町	愛宕橋~向山橋(白鷹町貝生地内)	8/20(日)	50
8	ゲンジ螢とカジカ蛙愛護会	高畠町	大滝川台の橋上流	8/6(日)	6
9	株式会社かわでん	南陽市	前川	10/14(土)	15
10	河原期川を愛する会	上山市	河原期川熊野橋から河原期川と前川の合流点まで(約1000m)	9/9(土)	15
11	にこにこぷん	上山市	宮川水管橋付近	8/20(日)	4
12	村山犬川と親しむ会	山形市	犬川下流(日新工業(株)農道橋上流100m右岸)	9/24(日)	20
13	チームS・Y クリーンアップ	山形市	馬見ヶ崎川プール ジャバ 上流右岸	10/1(日)	14
14	山形市立第一中学校 第3学年	山形市	馬見ヶ崎川河原 ジャバ横	9/21(木)	201
15	こども芸術大学	山形市	馬見ヶ崎川河原 ジャバ付近	10/26(木)	10
16	中央建設業紅花会安全環境部会	山形市	馬見ヶ崎河川敷(双月橋~山形大橋の間)	9/26(火)	50
17	おもいやり隊	山形市	馬見ヶ崎川河原 ジャバ付近	11/6(月)	7
18	横尾家ファミリー	山形市	馬見ヶ崎川千歳橋付近	10/21(土)	3
19	山形五堰の流れを考える会	山形市	御殿堰の中流部 福祉体育館前	10/22(日)	18
20	野呂川の環境を守る会	山形市	野呂川 ビッグウイング 上下流双岸	10/26(木)	40
21	龍山川をきれいにし隊	山形市	竜山川(青田~小立地区) 小桜橋付近	10/29(日)	4
22	山形県商工会連合会B班	山形市	竜山川・冠橋付近	10/14(土)	5
23	クリーンアップ・ザ・龍山川	山形市	竜山川・冠橋付近	10/29(日)	4
24	ドラゴンリバークラブ	山形市	竜山川・冠橋付近 右岸	10/29(日)	5
25	汗を流す会	山形市	門伝大橋	10/28(土)	4
26	七浦一区町内会	山形市	七浦地内 緑橋下流右岸~右京橋	8/6(日)	36
27	舟橋ゴミパスターズ	寒河江市	チェリーランド裏	10/15(日)	6
28	寒河江市立南部小学校4年	寒河江市	長崎大橋下~最上川ふるさと総合公園水辺の広場	9/14(木)	62
29	大江中卒業生59'S「飛翔会」	大江町	左沢付近 中洲	9/23(土)	5
30	エヌエス環境株式会社山形営業所	河北町	置揚護岸(河北町田井)	9/30(土)	8
31	モガミフーズ(株)美化運動	河北町	最上川 谷地橋 周辺	10/1(日)	30
32	山形県商工会連合会C班	河北町	最上川・谷地橋付近	10/14(土)	7
33	アダプト大旦川	村山市	村山市河島大旦川	10/16(月)	10
34	樽石川の清流を守る会	村山市	最上川(左岸)樽石川の合流地	8/5(土)	20
35	基点親睦会	村山市	最上川左岸基点体育館東	9/30(土)	7
36	うめつ	鮭川村	鮭川村庭月観音近くの橋の下流右岸	10/21(土)	4
37	新庄市立北辰小学校	新庄市	指首野川 北辰橋付近	10/10(火)	80
38	桧町アダプトの会	新庄市	指首野川 桧橋下流	8/27(土)	25
39	川西町河川公園を愛する会	新庄市	指首野川河原橋~西山橋	10/22(日)	38
40	YAE自然倶楽部	新庄市	新泉田橋より上流200m	10/14(土)	15
41	ボランティア カムロ	真室川町	鮭川(真室川町滝の上地区)中村橋下流付近	10/7(土)	10
42	余目ライオンズクラブ	庄内町	庄内町榎木土場(最上川)	10/1(日)	30
43	鶴岡鶴陵ライオンズクラブ	鶴岡市	内川 内川公園	9/17(日)	20
44	鶴岡ライオンズクラブ	鶴岡市	内川 禅中橋~上内川橋	9/10(日)	20
45	長者町けやきの会	鶴岡市	新内川の左岸、長者大橋~藤原橋の間 250m	10/15(日)	3
46	NEC山形	鶴岡市	鶴岡市櫛引総合運動公園付近	10/21(土)	170
47	温海ロータリークラブ	鶴岡市	鼠ヶ関人口海浜	8/3(木)	70
48	湯の浜サーフィンチーム カッパ	鶴岡市	湯の浜 宮沢海岸	9/10(日)	21
49	和順館高等学校	酒田市	出羽大橋 下流右岸	10/19(木)	26
50	清流美化推進協力会中野俣	酒田市	中野俣川平橋下流河川公園「水辺の楽校」	8/6(日)	40
51	新橋西自治会	酒田市	新井田川 自治会担当区域	10/26(木)	6
52	心のふるさと新井田川の会	酒田市	新井田川左岸 担当地域	9/3(日)	20
53	富士見グリーンクラブ	酒田市	新井田川上流 (富士見小学校側)	10/8(日)	9
54	酒田さわやかライオンズクラブ	酒田市	最上川河川公園	9/9(土)	8
55	酒田スワンロータリークラブ	酒田市	最上川河川敷スワンパーク周辺	9/30(土)	13
56	キャプテン研修会・庄内地区会議	酒田市	宮野浦海岸	9/30(土)	116

計 1,786

## キャプテン研修会・地区会議の概況

## 1 全県域キャプテン研修会

酒田市で開かれた「国際海岸クリーンアップ&ワークショップ in 山形 2006」について、全県域キャプテン研修会と位置づけ、実施に協力した。

1 日 時	平成18年9月29日(金) 10時~
2 場 所	東北公益文科大学
3 運営協力 団体	国連環境計画・北西太平洋地域海行動計画 (UNEP / NOWPAP) NPO 法人パートナーシップオフィス
4 参 加 者	日本、韓国、ロシア、中国から約200名 (最上川フォーラムからは23名が参加)
6 主な内容	<p>1 「水辺の散乱ゴミに関する流域間交流研修会」に参加 【主催：NPO 法人パートナーシップオフィス】</p> <p>[講演 1] 「きれいな海を汚す大量のゴミ～世界の海で起こっているプラスチックによる海洋汚染」 東京海洋大学 兼広春之 氏</p> <p>[講演 2] 「漂流・漂着ごみ対策に関する関係省庁会議の経過について」 内閣官房構造改革特区推進室 福嶋慶三 氏</p> <p>[講演 3] 漂着ライターゴミからわかること 鹿児島大学 藤枝 繁 氏</p> <p>2 国際海岸クリーンアップ&amp;ワークショップ 国際海岸クリーンアップ活動に関する各国からの報告 パネルディスカッション &lt;主な議題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日韓 NGO 意見交流会の報告</li> <li>・情報・データの共有化</li> <li>・宣伝資料の製作</li> <li>・一般市民への啓発</li> <li>・得られた成果の広報と政策への反映 など</li> </ul> <p>多くの方が参加しやすいように、マイクロバスを準備した。</p>

## 2 庄内地区

国際海岸クリーンアップ活動について、庄内地区キャプテン研修会と位置づけ、実施に協力。

1 日 時	平成18年9月30日(土) 8時30分~
2 場 所	酒田市宮野浦海岸
3 運営協力 団体	国連環境計画・北西太平洋地域海行動計画 (UNEP / NOWPAP) NPO 法人パートナーシップオフィス
4 参 加 者	日本、韓国、ロシア、中国から約120名
6 主な内容	<p>クリーンアップ活動に関して実技研修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施方法について、ICCコーディネータ 小島氏より説明</li> <li>・8班に分かれて、指定した範囲のゴミを回収。収集したゴミを分別し、国際規格のデータカードに数量等を記載</li> <li>・実施結果に関する報告、評価 (ICC事務局)</li> <li>・当日最も多かったゴミは、ビンカン類(約4割)、次いでペットボトル。</li> <li>・韓国、中国、ロシア、アメリカからの参加者から、クリーンアップ活動及びワークショップ全般についての感想等が述べられ終了。</li> </ul>



### 3 最上地区

1 日 時	平成18年10月20日(金) 14時~
2 場 所	舟形町中央公民館
3 運営協力団体	新庄・最上環境会議、升形川に親しむ会
4 参加者	約35名
6 主な内容	<p>1 美しい山形・最上川フォーラムの取組みについて</p> <p>2 実践事例の発表</p> <p>舟形町内の団体からそれぞれの活動内容を報告していただき、今後の活動へのヒントをいただいた。</p> <p>河川美化などに関する活動状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川友会(行政とうまく連携して活動)</li> <li>・川山会(地域の環境整備だけでなく、会員の健康増進、生きがいづくりにつなげる活動を展開)</li> </ul> <p>地域資源を活用した交流活動状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブナの実21(地元の宝を上手に活用し、情報発信)</li> </ul>

### 4 置賜地区

1 日 時	平成18年11月26日(日) 13時~
2 場 所	長井市「はぎ苑」
3 運営協力団体	美しい山形・最上川フォーラム置賜地域組織
4 参加者	約35名
6 主な内容	<p>水辺で活動している置賜地域のネットワークの立上げに向けた会議とあわせて、キャプテン研修会を実施した。</p> <p>置賜地域における水辺環境について 佐藤環境対策部会長</p> <p>水辺を愛する置賜のつどいネットワーク</p> <p>講演「川をめぐるふるさと置賜の歴史」 歴史郷土研究家 小山田信一氏</p>

### 5 村山地区

1 日 時	平成19年1月27日(土) 11時~
2 場 所	村山市「クアハウス基点」
3 運営協力団体	最上川故里ミュージアム
4 参加者	約85名
6 主な内容	<p>基調講演 「最上川の水環境と活用」 (佐藤五郎環境対策部会長)</p> <p>美しい山形クリーンアップキャンペーンの実施結果について (事務局)</p> <p>特別報告 「最上川229キロメートルを歩いて」(最上川故里ミュージアム)</p> <p>問題提起 「最上川・支流の散乱ゴミ不法投棄の現状と除去方法について」 (最上川故里ミュージアム)</p> <p>意見交換(主な意見)</p> <p>大石田町では、町をあげて大石田最上川を愛する町民会議を組織し、町民450名が参加し、最上川のクリーンアップを行っている。少しでも多くの方から、川に目を向けてもらい、参加してもらうことがまずは大切である。東根市の白水川で活動をしているが、草刈・ゴミ拾いといった河川の環境整備だけでなく、地域住民の横のつながりも大事にして活動している。各地域でそれぞれの団体・個人が、きれいな川を目指して頑張っている。お互い助け合い、最上川を通じてつながっていければ良い。</p>

## 平成 19 年度事業計画（素案）

## 1 清流・環境対策部会

(1) 身近な川や水辺の健康診断事業 予算額 1,300 千円(18 年度同額)

〔うち県補助金：850 千円(補助率 2/3)  
別途、国交省へ現物による支援を要請〕

参加グループ数：100～120 グループ、調査地点数：300 地点を想定  
従来どおりの報告書作成を前提に積算

検討項目	検討内容
実施の是非	
実施内容	<p>基本的な事業の内容は例年通りでよいか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 予算的には、報告書の作成・印刷は可能。</li> <li>2 4月に改めて実施検討会を開催するかどうか。</li> <li>3 地域別参加者説明会をどうするか。実施する場合、運営方法をどうするか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施する場合、地域組織による対応を期待</li> <li>・パックテスト等は事務局から参加者へ直接送付</li> </ul> </li> <li>5 これまでの実績を勘案し、地域別結果検討会はどうか。</li> </ol>
実施期間	<p>全国調査と連携する場合の一斉実施日は、 6月2日(土)～10日(日) 全国調査に参加する場合は、COD調査キットを無償で支給してもらえるというメリットあり。 年間通して実施したいという声もあり。 全県事業としては年1回とし、地域組織による研究事業として別途行う方法なども考えられる。</p>

(2) 美しい山形クリーンアップキャンペーン 予算額 600 千円(18 年度 1,100 千円)

〔うち県補助金：400 千円(補助率 2/3)〕

参加グループ数：50～60 グループを想定

1 グループ当たり 5 千円の経費を想定(傷害保険代、準備経費に対する支援費)

キャプテン研修会については、年 1～2 箇所を想定

検討項目	検討内容
実施の是非	
実施内容	<p>基本的な事業の内容は例年通りでよいか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 参加グループに対する支援の是非、その水準 例) 10 人未満 3,000 円 10 人以上 5,000 円 (参考) ボランティア保険料 300 円/1 人</li> </ol>

検討項目	検討内容
	<p>20人以上であればレクリエーション保険も加入できる。保険料80円/1人</p> <p>2 キャプテン研修会の開催をどうするか。 運営主体の選定方法 希望する箇所が多い場合は、地域組織における研修事業の1つとして実施する方法も考えられる。 研修会の位置づけ 活動の仕方を教える場にする場合と、アダプトを含めた活動実践者の交流の場として開催する場合とどちらに重点を置くべきか(最近、意見交換の場として開催するケースが多い。)</p> <p>3 他団体との連携方法は従来どおりでよいか。 クリーンアップ・ザ・庄内海岸 実行委員として参画、会員へ参加呼びかけ クリーンアップおおいしだ in 最上川 共催・事務局員が参加 モモカミゴミバスターズ大作戦 事務局から参加</p>
実施期間	・クリーンアップ活動の時期は、これまで同様、8～10月の3ヶ月間でよいか。

### (3) もがみがわ水環境発表会

検討項目	検討内容
実施の是非	・実施主体が、県環境科学研究センターと最上川フォーラムで構成する「最上川学会」であることから、1つの案としては、会費100千円程度をフォーラムで負担し、事務局を県環境科学センターにお願いする方法がある。
実施内容	・県環境科学研究センターを中心に検討を進めることでよいか。
実施時期	・県環境科学研究センターを中心に検討を進めることでよいか。

## 2 最上川文化・地域経済活性化部会

### 1 さくら物語

予算：未定

検討項目	検討内容
作成の有無	
実施内容	<p>・年間発行数をどうするか。</p> <p>・発行形態をどうするか(印刷物が、ホームページか)。 印刷物を作成しても、これまでのように全会員へ郵送する機会はない(全員への案内は総会時のみ)。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>冊子の性格は、現在のとおりでよいか。 フォーラム全体の機関紙的な内容にしてはどうかという意見あり(その場合、各部会からも編集委員を選出してもらう必要はあるかどうか。)</li> </ul>
--	---

## 2 舟運文化シンポジウム

予算：18年度並みを想定

検討項目	検討内容
実施の有無	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでと同様の規模での開催でよいか。</li> <li>テーマ、運営方法などをどうするか。 詳細は幹事会で検討してはどうか。 小規模の講演会等は、地域事業の中でも実施可能。</li> </ul>
開催時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局における事務平準化の観点から、秋口以降の開催を中心に検討いただきたい。</li> </ul>

## 3 写真コンテスト

隔年での開催とし、19年度は休止。

## 4 桜街道づくり

予算：桜植栽3,000～3,500千円を想定

検討項目	検討内容
実施の有無	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関からの支援も期待し、植栽事業は継続でよいか。</li> <li>桜の技術研修会はどうするか。</li> </ul>
実施内容	<p>&lt;桜植栽&gt; 植栽活動はどう進めるべきか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまで通り 市町村を通じて植栽を実施</li> <li>変更する場合 (例) 希望する会員を募集し、フォーラムが直接植栽する方法なども考えられる。</li> </ul> <p>1箇所当たりの補助水準はどうすべきか。 18年度は補助限度額を400千円に設定 市町村のフォーラム加入を促進するため、会員市町村とその他市町村とで補助限度額に差をつけるべきという意見もある。 桜植栽を期待して会費を納めている会員に配慮し、フォーラム会計からも一定の予算をつけるべきではないか。 18年度はほぼ全額JTB様からの支援金</p> <p>&lt;技術研修会&gt; 地域組織における研修事業の1つとして実施を検討してはどうか。</p>
実施時期	<p>&lt;桜植栽&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(市町村を通じて植栽する場合)年度内に市町村にお知らせし、予算額が確定次第、改めて正式な要望調査をしてはどうか。</li> </ul> <p>&lt;技術研修会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>桜の特性から晩秋に実施。</li> </ul>

### 3 地域部会

- 1 地域研修事業 予算額 1,000千円 [うち県補助金: 650千円(補助率2/3)]  
(1地域 250千円)

- ・ 会員同士が話し合い、地域の特性や会員のニーズを踏まえてテーマを決め、外部講師等を招きながら、研修会や研究会を開催するもの。
- ・ 研修会等は、内容に応じ地域住民や各種団体等も参加できるようにし、活動のネットワークを広げていく。

- (案)
- ・ 1地区当たり2～3回程度の研修会、研究会を開催
    - ・ 県内外から研究者やユニークな取組みを実践している活動家などを招き、講演や会員とのディスカッションなどを行う。
    - ・ 研修会の企画・運営は、地域の代表や幹事が中心になって行う。

(研修会等のテーマ例)

- ・ 微生物などを使った生活雑排水の清浄化の取組みの研究
- ・ 湧水を使った地域活性化の方策の研究
- ・ 地域に伝わる多様な舟運文化の掘起し
- ・ 桜の名所づくりに向けた研究会 等